

# 令和6年度の研究内容について

## 1 研究主題及び副主題について

グローバル化や技術革新により急激に変化し予測困難な時代だからこそ、よりよい社会の在り方について考え続け、様々な立場の人々と協働し、その実現に向けて主体的に参画しようとする「社会とつながり未来を創る子供」を育てたい。そのためには、「社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的に問いを追究する学習を通して」社会生活の理解を深め、社会的事象の特色や相互の関連、意味を対話的に考えたり多角的に考えたりし、社会の一員として自分の関わり方を選択・判断したり社会の発展を考えたりする力を育成したい。

### (1) 研究主題「社会とつながり未来を創る子供の育成」について

「社会とつながり」とは、自分や社会生活とのつながりから、社会的事象に関心をもって調べたり、人々の営みに共感したりして、社会的事象の特色や相互の関連、意味を理解することである。その上で社会の発展を願い、現実社会に見られる課題の解決を考えるなど、よりよい社会の在り方や人間の生き方を考えて選択・判断していこうとすることである。

「未来を創る」とは、現在、明日、一年後、数年後、卒業後、大人になってからなど未来に向けての地域、東京都、日本、世界における人々と共によりよく生きる社会を構想することであり、現代社会に見られる課題を解決するために、多くの人と協力しながらよりよい社会を創っていこうとすることであり、国家及び社会の一員としての生き方を考えていくことである。

「社会とつながり未来を創る子供」を育成するためには、学習内容を子供の生活と密着させたり、社会的事象の意味を自分と関連付けて考えたり、社会に見られる課題に子供が気付き、未来に目を向け、よりよい社会を築いていくために必要な関わり方を選択・判断したりする指導の工夫が必要である。そうした学習を通して現実社会とつながり、社会への希望や社会の一員としての自覚をもつ子供が育つと考える。

### (2) 副主題について

令和5年度の全国小学校社会科研究協議会研究大会東京大会の研究主題を引き続き研究する中で、各学年部会や研究員の部会ごとに副主題を設定し、研究の焦点化を図る。

## 2 研究の内容（手だて）について

### (1) 研究内容1 「単元構想」

#### ① 教材開発のポイント

- ・社会とのつながりを実感できる教材
- ・人の営みや働きに共感できる教材

#### ② 単元構想図

学習指導要領解説文を参考に、「知識」「見方・考え方」「問い」「資料」の4つの観点の内容に基づいて、教材分析をした結果を、子供の学びのプロセスに即して単元を構想する。その際、子供の主体的な学びを想定して学習問題や社会的事象の見方・考え方を働かせる学習活動を想定することで、その後作成する単元指導計画・評価計画をより確かなものにする。

### (2) 研究内容2 「授業づくり」

#### ① 「主体的に問いを追究する工夫」

問題意識が高まり問いが生まれる社会的事象との出会いの工夫や、学習問題の設定と予想や学習計画の立案により見通しをもつことができるような工夫、選択・判断し未来を構想することができるように工夫をするとともに、子供の思考の過程に即した問いの構成の工夫を行う。

#### ② 「社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫」

視点に着目して問いについて調べる学習活動の工夫や、比較・分類・総合・関連付けて考察する学習活動の工夫、これまで養われた視点や方法を転移・応用させ社会に見られる課題の解決に向けた構想する学習活動の工夫を行う。

#### ③ 研究内容3 「子供の学びを確かにする評価の工夫」

3観点による評価計画の作成や、指導と評価の一体化を図るための評価の工夫、子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価活動の工夫を行う。

